

学びや

ヨイムスワッポ

全国初の学区制小学校である京都の番組小学校は、明治9年、西暦で言うと1869年から70年初頭にかけて、64校戸の分は町または番組内が誕生しました。この番組小と地域との関わりにおいて最も有名なのは、いわゆる「竈金」でしょう。

竈金とは、番組(後の

学区)内のすべての戸が、定められた額を番組小の運営費として出資するもので、番組小が最初に開校式を挙げた1869年に5月に拠出が始まりました。

うになり、それに合わせではありませんが、その永続方法の代表的な組織として、小学校会社が設立されます。小学校会社は、番組小の運営から独立しつつ、学校に必要となたわけてはなかった費用を補う役割も果たしたので、他で捻出する必要がなくなり、京都府は、番組小の運営を各番組の通称です。

華族・士族以外のすべての戸が半年ごとに金1分(現在の約2500円)を負担し、出資できない力で永続させるよう要求からの基立米が用いられたのです。最初の小学米6350石を各番組に配布しました。

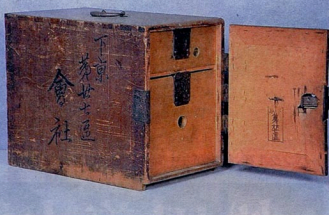
その運営に、竈金と府校会社は、1869年10月、下京十四番組(後の

学区教育費として活用

修徳学区)に設置され、1889(明治22)年に元番組である「組」が「学区」となり、学区の議会である学区会が誕生すると、「竈金」は「学区市税」、つまり名実ともに税金となり、学区教育費として活用されるようになります。この学区の扱量に任され、学区制度が廃止される前年の1940(昭和15)年まで存続しました。

氏名	金額
土土	一 二三四五六
一	七八九十十
二	一一二三四五六
三	七八九十十
四	一一二三四五六
五	七八九十十
六	一一二三四五六
七	七八九十十
八	一一二三四五六
九	七八九十十
十	一一二三四五六

小学校会社・竈金の帳簿「通(かよい)」=1874年、元有隣小



小学校会社の金庫 (1877年ごろ、元貞教小)

今紹介した資料は学校歴史博物館(下京区)で展示しています(水曜休館)。

(京都市学校歴史博物館 学委員 和崎光太郎)